

第2期中期計画における動物衛生研究所の組織体制

企画管理部長 村上 洋介

動物衛生研究所では、第2期中期計画における業務の推進組織体制に、従来の研究部・研究室制を廃止して新たに研究チーム制を導入しました。また、これまでの企画調整部と総務部を統合して企画管理部を配置し、研究支援業務の一層の効率化を図ることとしました。さらに、当研究所の独自組織としてプリオン病研究センターと動物疾病対策センターを設置しました。プリオン病研究センターではプリオン病に関わる研究を継続して推進します。また、動物疾病対策センターでは、動物用生物学的製剤の製造、疾病疫学情報の収集と解析、微生物株等の知的基盤の管理や動物実験に関わる基盤的業務を担当し、各研究チームの支援を行う予定です。

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所 組織図
(平成18年4月1日現在) 15ページ参照

また、中期計画で定められた当研究所の業務には、前段の業務に加えて病性鑑定及び講習・研修等の重要な業務があります。これらの業務は動物衛生研究所の進展そのものに密接に関係しますので、当研究所の研究・技術系職員全員がその専門性に応じて分担することになりますが、病性鑑定の責任体系を確保するとともに、動物疾病対策センター等の所内関連部署との連携を図りつつ所要の抗原や抗血清など病性鑑定に不可欠な資材の充実と整備を図ることを目的として、研究所独自の内部組織(ユニット)を配置しています。

以下にその組織の概要を図示します。

動物衛生研究所の内部組織(ユニット)図
(平成18年4月1日現在) 16ページ参照

